

公益社団法人 日本馬術連盟
理事長 春田 恭彦 殿

エンデュランス競技 2016年 WEC 参加について

6月15日、開催中止となったエンデュランス競技2016年ドバイ WECに代わり、スロバキア国 Samorin 市での2016WEC開催 2016年9月15-18日 が決定いたしました。

私どもは当初より12月開催を想定して参加準備を進めてまいりました。ドバイ大会中止決定後、別国での開催、開催時期変更についても対応すべく努力してまいりましたが、今大会の開催国、時期では、以下の理由により参加のための態勢を整えることが大変困難であると判断せざるを得ません。

当初予定より3カ月の開催日前倒しとなり、さらに海外遠征輸出入時の「家畜衛生条件」にある渡航先留置期間（60日）の撤廃・緩和が見込めない現状では、7月上旬には人馬を出国（輸出）させる必要があります。国内での準備はもとより、現地でのトレーニング・飼養環境を整えるための現地調査、留置先決定、留置施設確保の時間的猶予が決定的に不足しています。このような状況では、人馬ともにそのパフォーマンスを発揮することは難しく、輸送、長期留置、競技によるリスクがあまりにも大きいと判断し、参加を見送らざるを得ないという結論に至りました。

ドバイ大会を目指し、膨大な時間と費用を費やしトレーニングを重ねてきたライダー、馬たちのことを思うと残念なことではありますが、次回カナダ大会での雪辱を誓い、新たな気持ちで再出発する所存です。

以上、アラビアン・ホース・ランチは、当該開催地、時期での WEC 参加は不可能と判断し、不参加を決定しましたので、取り急ぎお知らせいたします。

また、今回の決定にあたり、先日、撤廃・緩和を要請いたしました国際競技渡航先国における「家畜衛生条件」（渡航先留置期間60日）が、大きな障害として再びクローズアップされる結果となりました。次回、世界選手権開催国カナダでの留置条件の撤廃・緩和、また早期の方針決定を実現すべく関係官庁との調整を再度強く要請いたします。

2016年6月20日
アラビアン・ホース・ランチ
代表 蓮見 清一